

## 定例公安委員会の開催状況について

令和4年3月24日（木）に、第9回山形県公安委員会定例会を開催し、議事の概要は次のとおりでした。

### 1 4月の行事予定

4月の行事予定について報告があった。

### 2 「若年層の性暴力被害予防月間」への取組について

本年4月1日（金）から同月30日（土）までの間の1か月間実施される「若年層の性暴力被害予防月間」への取組について報告があった。

#### 委員のコメント

- 「特定少年」について、県民に広報する必要がある。月間の具体的な取組の中に、取り入れてほしい。
- SNS利用に起因する性被害について、若者の警戒心が経年劣化して緩んでいる。コロナ禍であるが、リモート形式などやり方を工夫して、小、中学校に出向いての防犯教室を積極的に実施してほしい。
- 被害を少しでも減らすため、予防啓発は極めて重要である。具体の取組項目を徹底してほしい。

### 3 春の交通安全県民運動の実施について

本年4月6日（水）から同月15日（金）までの10日間実施される「春の交通安全県民運動」の主な取組等について報告があった。

#### 委員のコメント

- 山形県警の交通関係施策を、高く評価している。的を射た各施策の成果が数字となって現れている。本県民運動では、特に、「交通安全ありがとう運動」に重点を置いて、県民の交通安全意識の醸成に努めてほしい。電動キックボードに対する指導も強化してほしい。
- 新学期に合わせて、新入生に交通ルール遵守の意識を持たせる取組を進めてほしい。「交通安全ありがとう運動」の中でも、子供たちが手を挙げて車を止める意識を高めてほしい。車の走行スピードが抑制されているのは、横断歩行者妨害違反などの取締りを強化した成果である。今後も継続してほしい。
- 「交通安全ありがとう運動」を、県民に広く周知することは重要である。前方不注意による事故のデータは、緻密な分析結果を基に得られたもので、とても説得力がある。このデータを県民に広く知らせて、最近増加傾向にある前方不注意による事故の抑制と、交通安全意識の高揚を図ってほしい。

#### 4 3月16日の福島県沖を震源とする地震に伴う対応状況

本年3月16日（水）発生した福島県沖を震源とする地震に伴う対応状況について報告があった。

##### 委員のコメント

- 自主参集による災害警備本部立ち上げがスムーズに行われたのは、日頃の指示教養や訓練の成果である。これからも、日々緊張感を保持しながら進めてほしい。
- 早期の体制構築には、普段の訓練が生かされた。今後も、個々の警察職員が迷わずに対応できるよう、指導教養や訓練を重ねてほしい。
- 日本海側を震源とする地震の発生も懸念される。緊張感を持った訓練を重ね、日頃から、心も身体も有事に即応できるよう、準備を進めてほしい。